

琉球大学医学部附属病院で経カテーテル大動脈弁治療(TAVI)が受けられるようになりました。

平成 27 年 10 月 8 日(木)、経カテーテル大動脈弁治療 (TAVI) 治療についてプレス発表を行いました。

この経カテーテル大動脈弁治療は、外科手術が適用できない重症の大動脈弁狭窄症患者さんを対象にしており、2013 年 10 月より本邦の臨床に導入され、経カテーテル的大動脈弁置換術関連学会協議会に認定された医療機関のみが施行可能な治療法です。施設認定には、ハイブリッド手術室の完備や、多くの大動脈弁手術の経験等が要件として必要です。当院は、2015 年 8 月 1 日、沖縄県初の TAVI 認定施設として登録され、8 月 12 日、初めて TAVI による治療が行われました。現在までに、既に計 5 例の患者さんに治療を行い、全例で弁留置に成功しています。超高齢者が対象であるにもかかわらず、全例とも手術早期に歩けるほど順調で、術後 10 日前後で退院可能なまでに回復されました。このように、TAVI 治療は患者さんにとって低侵襲で有効性も高い優れた治療法です。

TAVI に関するご連絡ご質問は、医療情報提供書を、第三内科岩淵成志あるいは第二外科永野貴昭宛で、本院医療福祉支援センター（シエント）098-895-1371、FAX 098-895-1498 へお願いします。



【治療方法について説明の様子】



【記者との質疑応答の様子】平成 27 年 10 月 8 日(木)

(左から) 國吉 主宰教授 (第二外科)、永野 診療講師 (第二外科)、80 代の患者さん、岩淵 診療教授 (第三内科)